

# 内科学 A

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5 年

授業形式等：講義

## ◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

鈴木 裕(隣接医学 兼任講師)

中山 智祥(隣接医学 兼任講師)

松本 直也(隣接医学 兼任講師)

谷 樹昌(隣接医学 兼任講師)

横山 勝章(隣接医学 兼任講師)

中島 典子(隣接医学 兼任講師)

北井 真貴(隣接医学 兼任講師)

菊島 公夫(隣接医学 兼任講師)

小堀 容史(臨床医学 兼任講師)

吉川 真弘(隣接医学 兼任講師)

金子 真大(隣接医学 兼任講師)

今武 和弘(隣接医学 兼任講師)

米永 一理(口腔外科学Ⅱ 兼任講師)

## ◆一般目標 (GIO)

歯科診療を行う上で、歯科学的知識のみでは歯科診療が困難な場合がある。特に、歯科診療が全身に及ぼす影響、また全身疾患の一部としての歯科領域における種々の徴候など、全身的な医学知識が必要となることもある。本教科においては、歯科医にとって必要な内科的知識を学び、理解する。

## ◆到達目標 (SBO s)

歯科診療を行うために必要な内科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

## ◆評価方法

第1回～第7回終了後、平常試験を行う。定期試験は、第8回以降の内容から出題し、両方の試験を総合して各50%により評価する。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

## ◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常試験後にはフィードバックを行う。

## ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅰ	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和4年
参考書	指定しない			

## ◆DP・CP

### DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

### DP5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見い出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

### DP6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

### DP7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

### CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

### CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

### CP7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

## ◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

## ◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

## ◆全学年を通しての関連教科

隣接医学Ⅱ，Ⅲ

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.5	6	【対面】 1. 循環器非観血的検査	・循環器疾患非観血的検査について（歯科と関連の深い疾患の診断を含む）説明できる。	松本 直也	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2		4.12	6	【対面】 2. 歯科治療に対する循環器疾患患者の留意点 心不全：病態，症候，診断，治療，予後	・循環器疾患を有する患者に対して歯科治療を行う場合のリスク，注意点やその対処法について学び説明できる。 ・心不全の病態・症候・診断・治療・予後の概略を説明できる。	菊島 公夫 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		4.19	6	【対面】 3. 不整脈について 正常刺激伝導系について	・正常刺激伝導系について歯科診療で最低知っておくべき不整脈について学び説明できる。	横山 勝章	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		4.26	6	【対面】 4. 臨床検査の基本と読み方	・臨床検査の種類を説明できる。 ・臨床検査を実施する時の注意点を説明できる。 ・臨床検査の実施目的を説明できる。 ・臨床検査の結果判断の基本を説明できる。	中山 智祥 吉川 真弘	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		5.10	6	【対面】 5. 内科診断学総論 患者のみかた：身体所見の取り方，視診，触診，口腔内診察，血圧測定，聴診	・歯科医として，内科診断のあり方を学び，歯科診療において，内科へ依頼した方が良い疾患を念頭におくための診断の手法について学び説明できる。 ・疾病とは何かについて説明できる。 ・問診の方法について説明できる。 ・問診で得られた情報から考えられる疾病，病態（代表的なもの）について説明できる。 ・診察の方法について説明できる。 ・診察で得られた情報から考えられ	今武 和弘 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

					<p>る疾病，病態（代表的なもの）について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で得られた情報を統合する考え方について学び説明できる。</li> <li>・身体所見の取り方の流れを説明できる。</li> <li>・視診によって得られる情報を理解し，全身および身体各部の視診ができる。</li> <li>・触診の注意事項を知っており，触診所見を説明できる。</li> <li>・口腔および咽頭の所見を的確に取れ，説明できる。</li> <li>・血圧の測定法について理解し，評価できる。</li> <li>・呼吸器・循環器・腹部聴診所見について説明できる。</li> </ul>		
6		5.17	6	<p>【対面】</p> <p>6. 神経疾患の総論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科治療に係る神経疾患の病態について学び説明できる。</li> </ul>	鈴木 裕	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		5.24	6	<p>【対面】</p> <p>7. 神経疾患の症候・診断治療</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科治療に係る神経疾患の診断・治療について学び説明できる。</li> <li>・歯科治療に必要なパーキンソン病，アルツハイマー病，ALS など神経疾患の病態について学び説明できる。</li> </ul>	鈴木 裕	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
		5.31	6	平常試験		米原 啓之	
8		6.7	6	<p>【対面】</p> <p>8. 消化器疾患</p> <p>1) 上部消化管（食道，胃）の症候・診断・治療</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な上部消化管疾患につきその成因，発生機序，臨床症状について学習し，その診断・治療法についても学び説明できる。</li> <li>・食道癌・食道静脈瘤・マロリーワイス症候群・食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ポリープ・胃癌について学び説明できる。</li> </ul>	中島 典子	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		6.14	6	<p>【対面】</p> <p>消化器疾患</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な下部消化管疾患につきその成因，発生機序，臨床症状について学</li> </ul>	中島 典子	E-6 医師と連携するために

				2)下部消化管（小腸，大腸，肛門）の症候・診断・治療	修し，その診断・治療法についても学び説明できる。 ・潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸癌・感染性腸炎・薬剤性腸炎・消化管ポリポージスについて学び説明できる。		必要な医学的知識
10		6.20	6	【対面】 10. 虚血性心疾患：病態，診断治療	・虚血性心疾患の病態を説明できる。 ・診断から治療の流れを説明できる。	谷 樹昌	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
11		6.21	6	【対面】 11. 内分泌疾患：総論	・ホルモンの種類，内分泌疾患の症候・治療法の概要を学び説明できる。	北井 真貴	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
12		6.27	6	【対面】 12. 高血圧：病態，診断，治療 腎疾患：病態，症候，診断，治療，予後	・高血圧の疫学・病態・診断・治療の概略を説明できる。 ・主な腎疾患の病態・症候・診断・治療・予後の概略を説明できる。 ・高血圧・心不全・腎疾患例における歯科診療上の留意点を説明できる。	小堀 容史 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
13		6.28	6	【対面】 13. 感染症と院内感染対策	・微生物と感染症の概念を学び説明できる。 ・感染経路について学び説明できる。 ・院内感染対策について理解し，診療に役立てる（結核を含む）ことができる。 ・針刺し事故について学び(ウイルス肝炎を含む)説明できる。	米永 一理 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
14		7.5	6	【対面】 14. 肝胆膵疾患 肝臓の総論 肝臓の各論	・肝臓の働き，検査所見について学び説明できる。 ・肝臓病について学び説明できる。 ・慢性肝疾患での歯科診療における留意点を学び，診療に役立てることができる。	金子 真大 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

15		7.12	6	<p>【対面】</p> <p>15. 肝胆膵疾患</p> <p>胆嚢の総論, 各論</p> <p>膵臓の総論, 各論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胆嚢の働き, 検査所見, 病気について学び説明できる。</li> <li>・膵臓の働き, 検査所見, 病気について学び説明できる。</li> </ul>	<p>金子 真大</p> <p>米原 啓之</p>	<p>E-6 医師と連携するために必要な医学的知識</p>
----	--	------	---	--	--	---------------------------	-------------------------------

